



**ViECO**  
**Technologies**

**ヴィスコ・テクノロジーズ  
株式会社  
2018年 3月期  
決算補足説明資料**

2018年 5月 11日

JASDAQ:6698

# 会社概要

会社名	ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社 (証券コード：6698)
代表者	代表取締役社長 足立 秀之
本社所在地	東京都港区海岸 1-11-1 ニューピア竹芝ノースタワー20階
設立	2003年 8月
資本金	446百万円 (2018年 3月末現在)



事業拠点	国内：大阪・鹿児島 海外：中国（上海）・タイ（バンコク） 米国（イリノイ州）・台湾（台北）
従業員数	103人 (2018年 3月末現在)
事業内容	画像処理検査装置の開発、製造、販売

# 企業ビジョン

画像処理検査といえば “ ViSCO ”

画像処理技術を広めることにより  
豊かな社会づくりに貢献する

画像-筋

“究極の画像処理システム”  
を追及する

顧客満足度の高い画像ビジネスの  
トータル・ソリューションを創造し、  
画像処理システムクリエイターとなる

## ViSCO Solution

### 高度な光学技術

- ✓ 対象物にどのような形状の照明を当てるか
- ✓ どうやって照明を当てるか
- ✓ 何色の照明を当てるか



### 検査ニーズに応える独自の画像処理アルゴリズム

- ✓ 汎用的+専門的な検出能力
- ✓ 人間の考え方をアルゴリズム化
- ✓ 高精度な検出能力



### 高度な画像処理検査ソリューションを提供

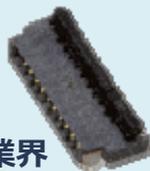
外観検査

位置決め

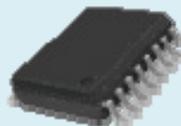
バーコード等読取り

寸法計測

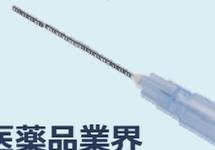
電子部品業界



半導体業界



医薬品業界



日用品業界



プラスチック業界



# 事業コンセプト

## 人の目の代わりになるマーケットイノベーターとなる



テクノロジーによる、限りなく人の目に近い  
究極の画像処理検査装置を提供し続けることで、  
生産の効率化（高速化、高品質化、人件費抑制）など  
社会のニーズに応じていく。

# 当社の強み ～“人間の考え方”をアルゴリズム化

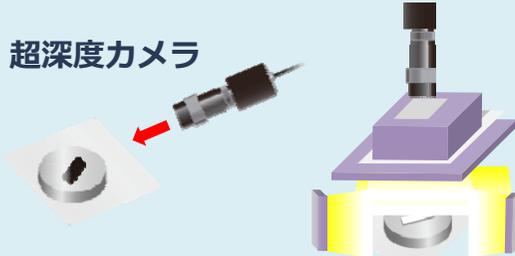
人間の考え方である **知覚判断**・**経験判断**・**認識** を画像処理技術で再現

**知覚判断**



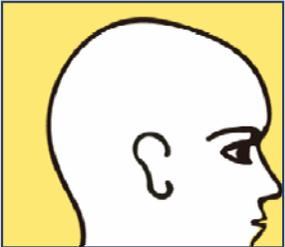
**“こうしたら良く見える”**  
欠陥をより見えやすくする  
検査アルゴリズム

超深度カメラ



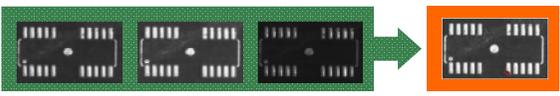
光学ソリューション

**経験判断**

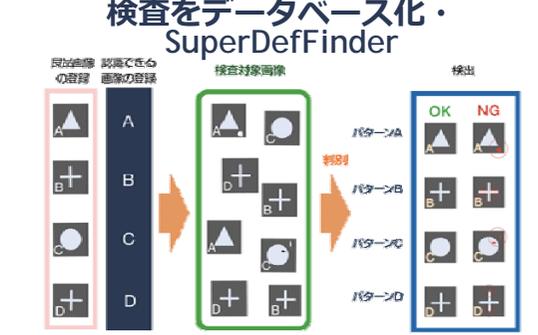


**“良品にもバラつきがある”**  
統計（＝経験）を考慮した  
検査アルゴリズム

統計的に異物を判別・DefFinder



検査をデータベース化・SuperDefFinder

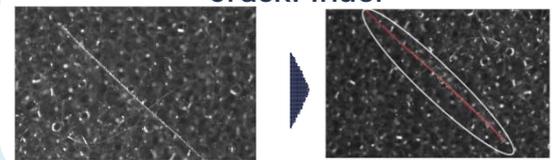


**認識**



**“欠陥にも形状がある”**  
クラックや傷などの欠陥を  
形状として認識

CrackFinder



# 2018年3月期 連結決算ハイライト

## 前年同期比較

(単位：百万円)	前期	当期	増減額	増減率
	2017年3月期	2018年3月期		
売上高	2,878	3,307	+428	114.9 %
営業利益	351	464	+113	132.2 %
経常利益	270	417	+147	154.3 %
親会社株主に帰属する当期純利益	202	301	+99	149.0 %
1株当たり当期純利益 (単位：円)	40.30	57.00	+17	141.4 %
1株当たり配当金 (単位：円)	0.13	6.25	+6.13	5,000.0 %
自己資本当期利益率(ROE)	18.1 %	15.8 %	-	-

注) 2018年4月1日をもって1株につき8株の割合で株式分割を行っておりますため、1株当たり情報は、その内容を反映させ算出しております。

- 売上高
当社の主力用途であるコネクタ検査用とに加えて、その他電子部品検査用途が大幅増加。  
韓国、タイでの売上高増加。
- 営業利益
新規株式公開に伴う費用は増加したものの、売上高が堅調に推移したことにより吸収。

# 2018年3月期 連結決算ハイライト

## 業績予想 (2月27日公表) 比較

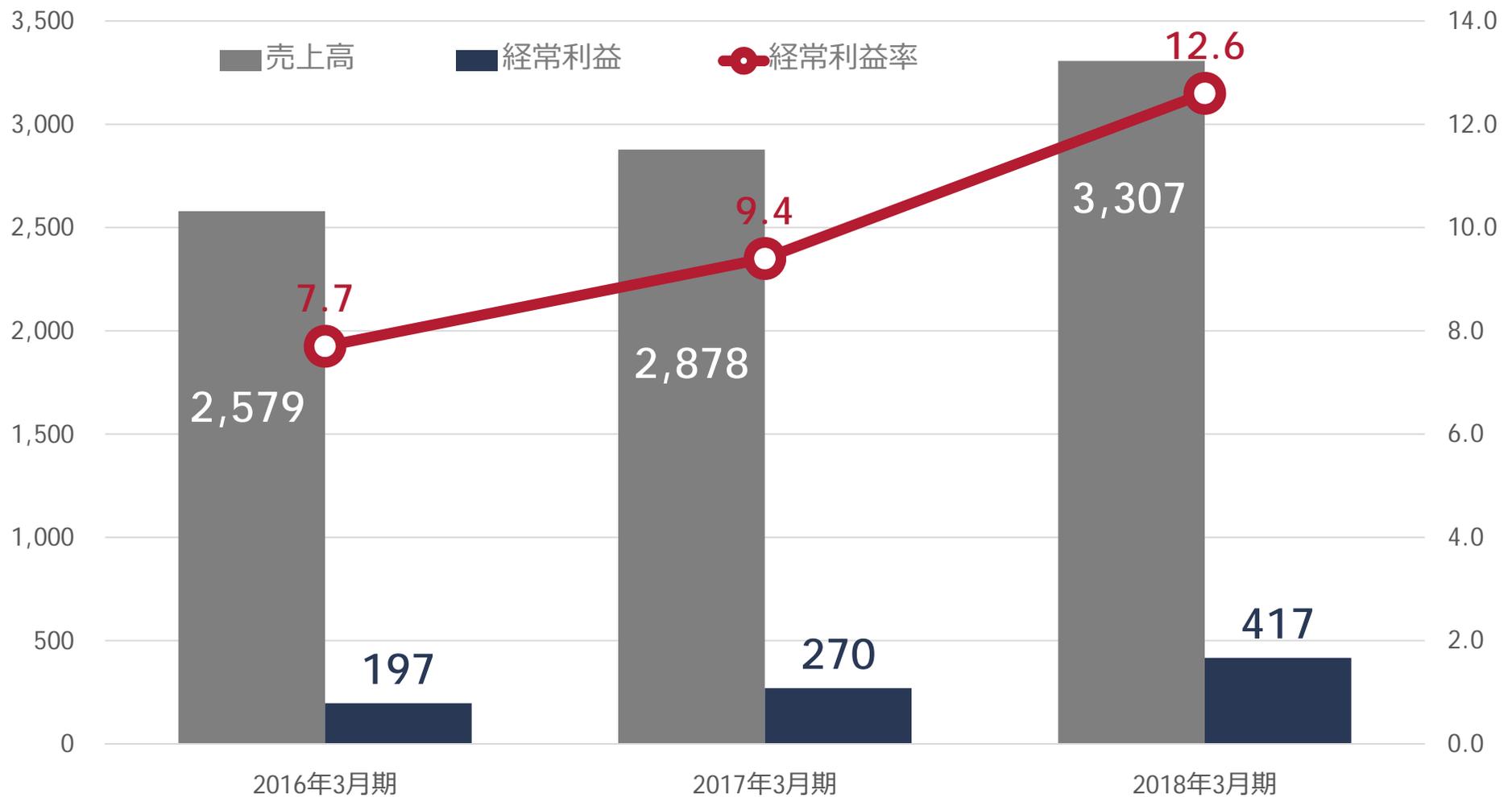
(単位：百万円)	予想	当期	差異	差異率
	2018年3月期	2018年3月期		
売上高	3,350	3,307	△42	98.7 %
営業利益	470	464	△5	98.9 %
経常利益	420	417	△2	99.5 %
親会社株主に帰属する当期純利益	290	301	+11	104.1 %
1株当たり当期純利益 (単位：円)	54.76	57.00	+2.24	104.1 %

注) 2018年4月1日をもって1株につき8株の割合で株式分割を行っておりますため、1株当たり情報は、その内容を反映させ算出しております。

# 連結売上高・経常利益 推移

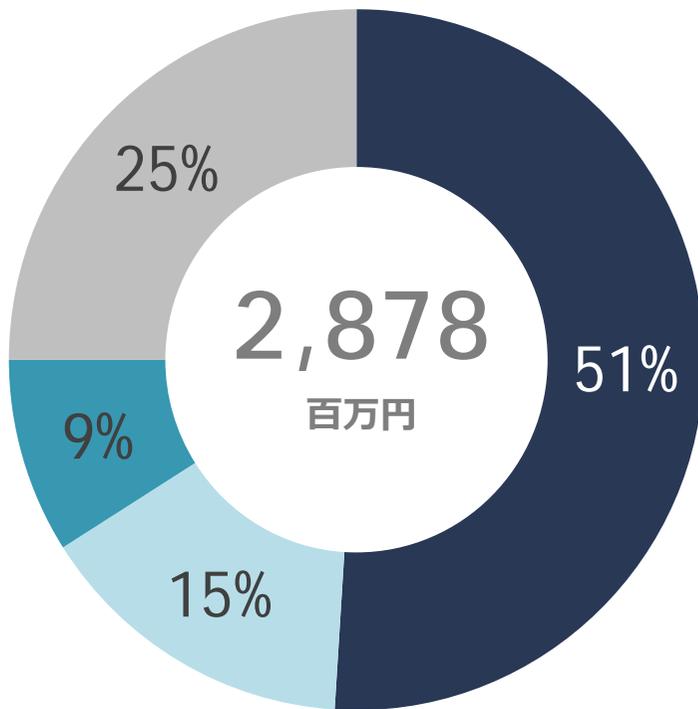
(単位：百万円)

(単位：%)

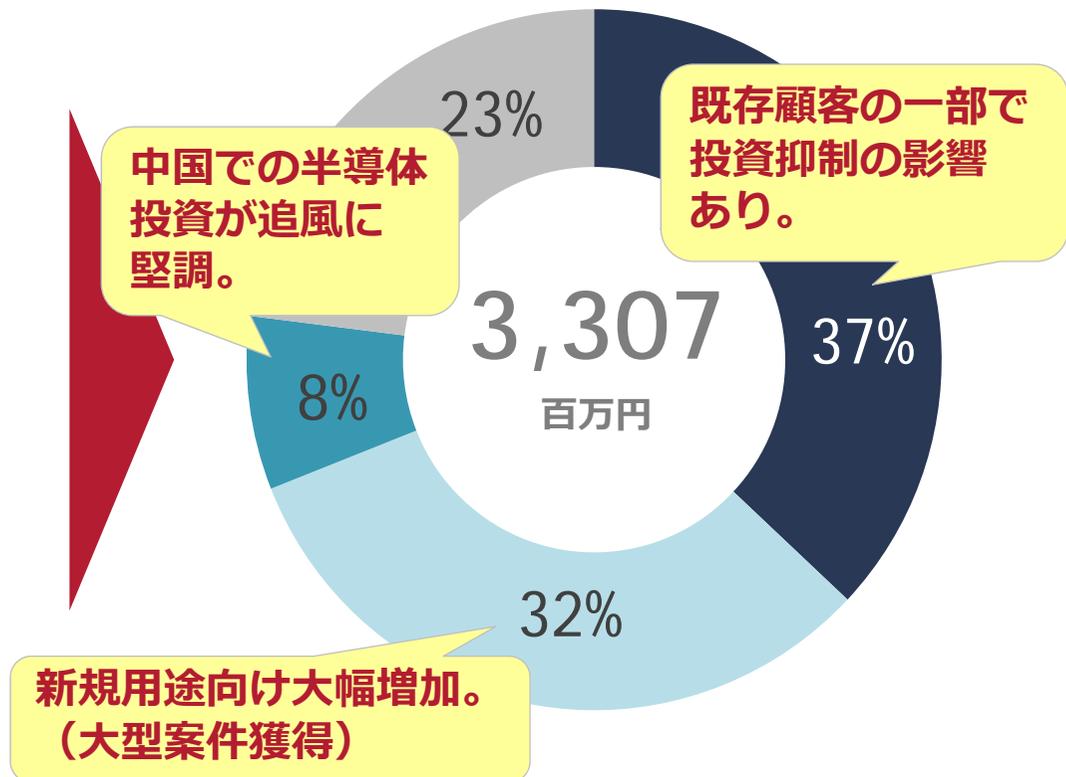


# 検査用途別売上高構成

前期  
2017年 3月期

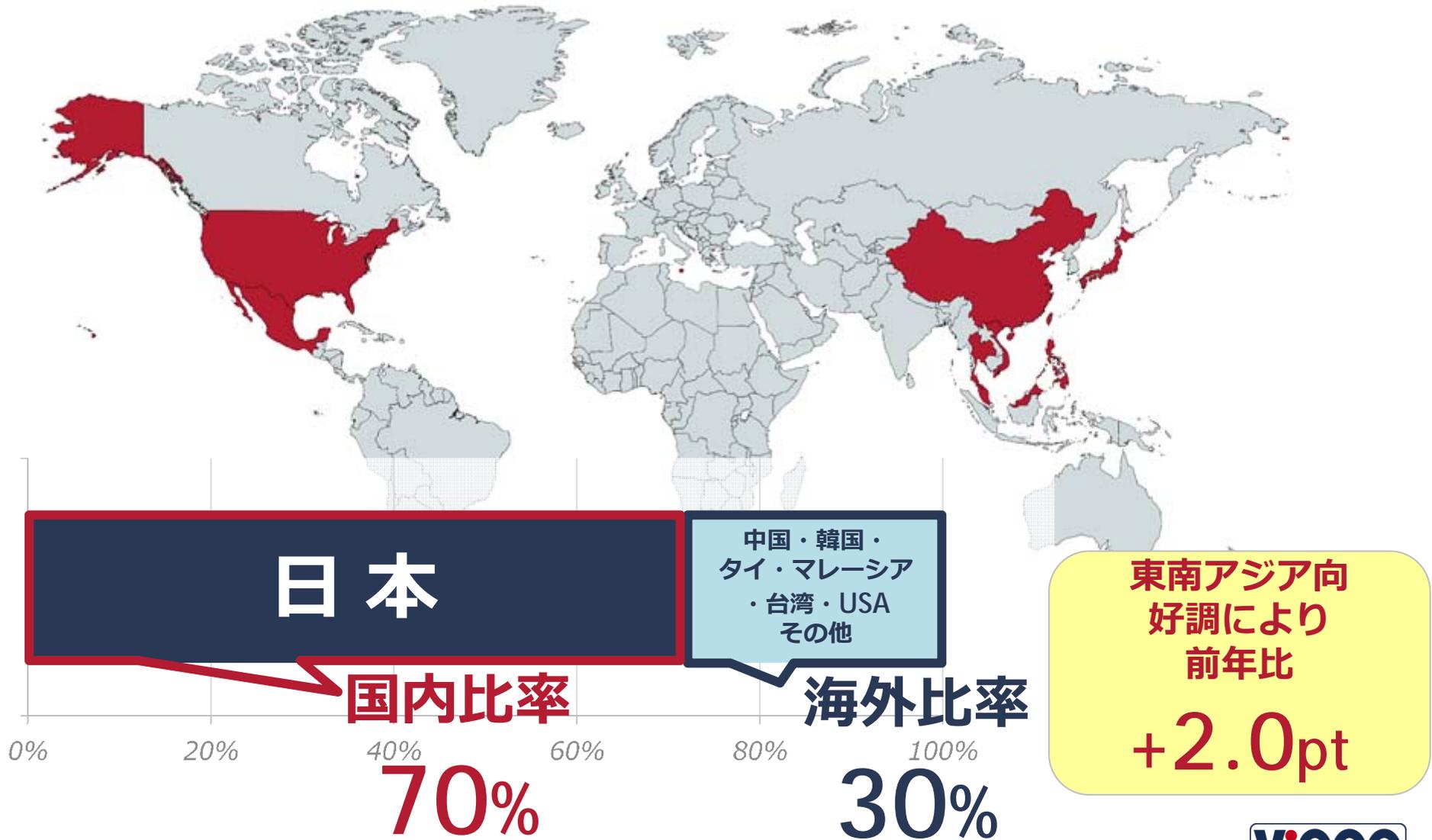


当期  
2018年 3月期

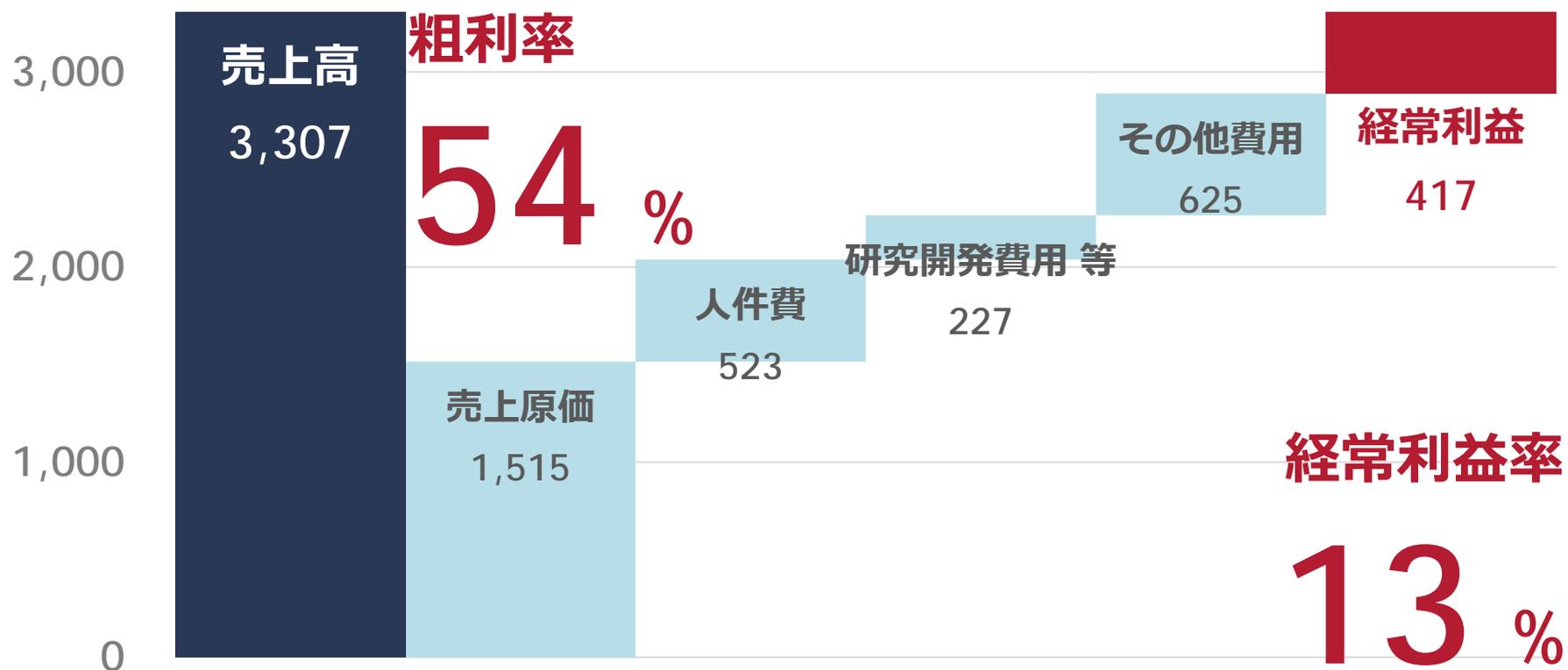


■ コネクタ ■ 電子部品 ■ 半導体 ■ その他

# 国内売上・海外売上の動向

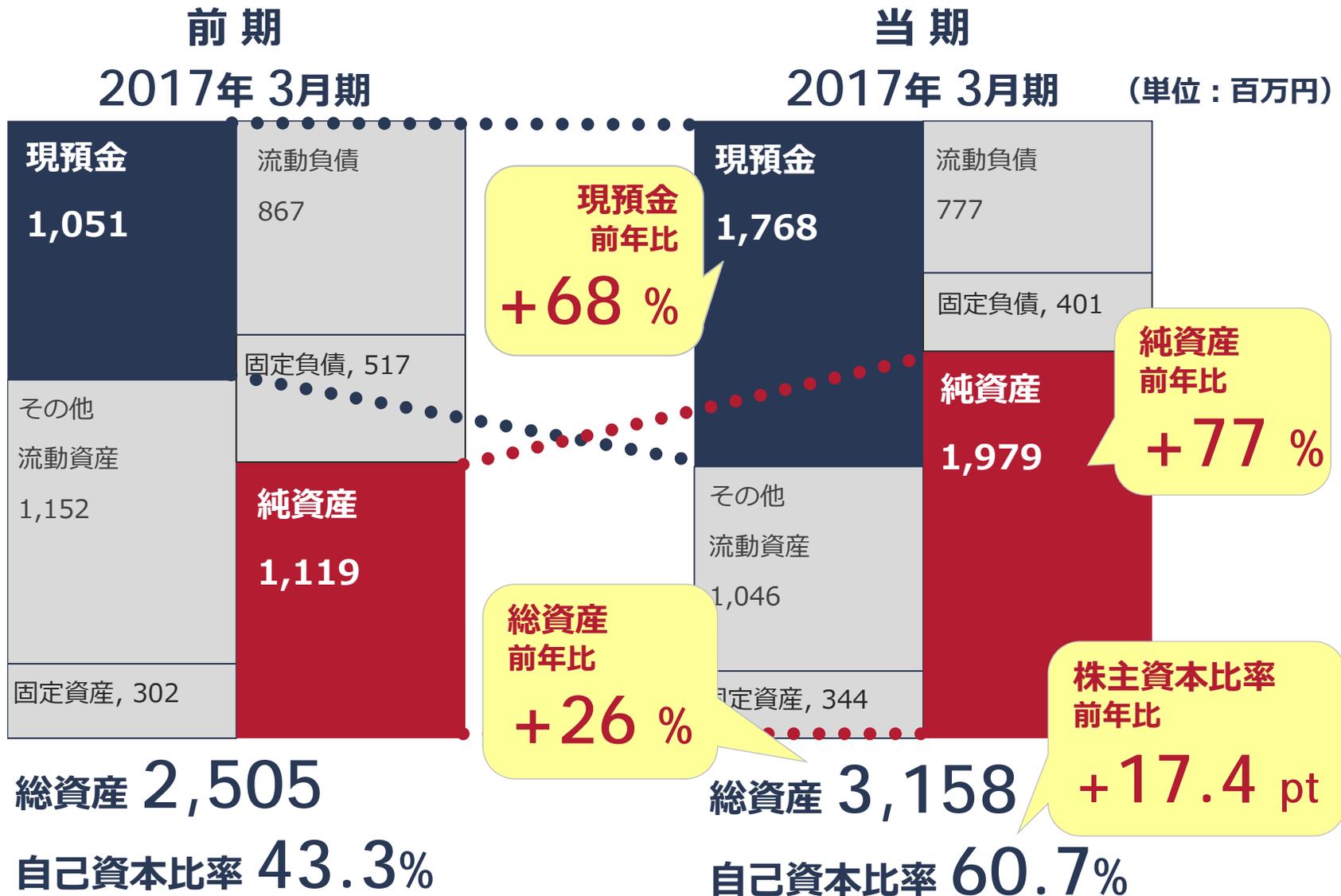


# 2018年 3月期 連結決算経常損益分析

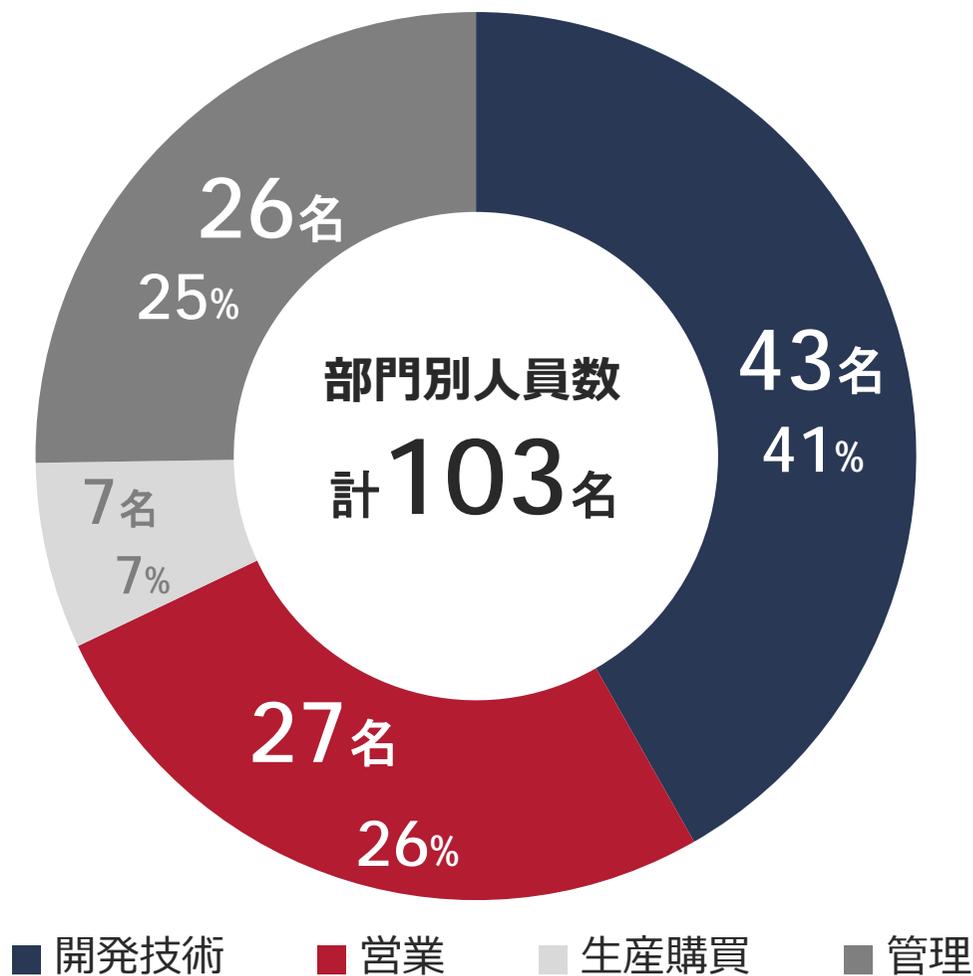


(単位：百万円)

# 2018年3月期 貸借対照表



# 2018年3月期 部門別人員数(連結)



2018年3月期  
経営管理体制強化



今後の展開  
営業/開発部門  
強化へ

# 2019年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	3,307	3,450	+ 142	104.3 %
営業利益	464	360	△ 104	77.5 %
経常利益	417	330	△ 87	79.0 %
親会社株主に帰属する当期純利益	301	230	△ 71	76.2 %
一株当たり当期純利益 (単位：円) (注)	57.00	38.68	△ 18.32	-
自己資本利益率 (ROE)	15.8 %	11.3 %	△ 4.5 pt	-

注) 2018年4月1日をもって1株につき8株の割合で株式分割を行っておりますため、1株当たり情報は、その内容を反映させ算出しております。

- 前期大きく増加した電子部品用途は堅調だがスポット案件は一服
- コネクタ向けは設備投資抑制から更新フェーズに入るため増加
- 新規MEMS用途が本格的に立ち上がる
- 研究開発向けの戦略的人的投資等、人件費が増加することにより経費増加し、営業利益は減少を見込む

# 2019年3月期 重点施策

1

中期経営計画の初年度として成長のための基盤を固める年とする

2

戦略投資を推進

- 研究開発投資（VTV-900の機能開発と新製品開発）
- 継続的成長のための人材投資（若手を中心とした人員増強）
- 営業強化のための人員増強

3

当社の強みを活かしたソリューションサービスをパッケージ化することで用途開拓と販売顧客層を拡大

4

市場成長性の高い中国・アジアにおける営業強化

# 2019年 3月期 事業展開

1

## 【開発投資】

- 成長サイクルを形成するための戦略的な投資を推進。
- 主力テーマ TNG（次世代製品）の開発

2

## 【販売】

- スマホ・コネクタ依存型のビジネスからの脱却を目指し、他業種への新規潜在顧客の掘り起しを進める

3

## 【人材】

- 中長期的成長を確実なものにするため、若手人材の採用を促進
- 新卒採用の開始（理系数名採用予定）

4

## 【海外】

- タイを拠点とした東南アジア顧客開拓、中国潜在ニーズの掘り起し  
→現地体制強化、ローカル人材の育成、本社からの支援強化

# グローバルネットワーク



世界の製造現場に展開  
着実に評価を獲得

Created with mapchart.net

# IR に関するお問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、  
管理本部 IR担当までお願い申し上げます。

Mail : [info-ir@visco-tech.com](mailto:info-ir@visco-tech.com)

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

私たちは、画像一筋です。